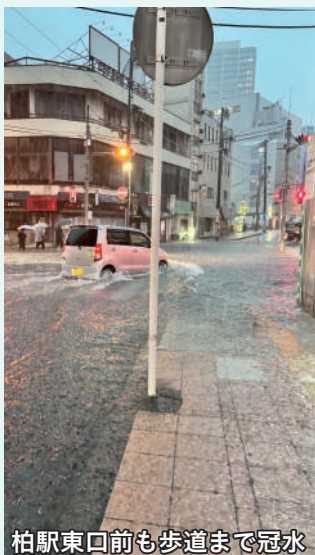
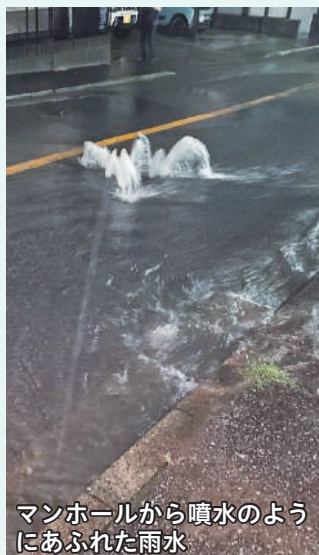




大堀川から川沿いにある遊歩道に雨水が流れ込んだ



柏駅東口前も歩道まで冠水



マンホールから噴水のようにあふれた雨水



北柏国道6号アンダーパスに雨水が流れ込み、複数の車が水没

令和8年8月千葉豪雨による被害

その時、 柏で何が起きていたのか

8月13日から14日にかけて発生した「令和8年8月千葉豪雨」は、市内各地に冠水や浸水などの甚大な被害をもたらしました。当時の被害状況を振り返り、万が一の災害に備えて、いま一度対策を確認しましょう。

わずかな時間で 一変した日常

今回の豪雨で相次いだのは、河川の氾濫（外水被害）ではなく、雨水が街にあふれ出す「内水被害」でした。コンクリートやアスファルトで舗装された都市部では、雨水が地中に染み込みにくく、下水道や側溝の排水能力を超えた水が高い場所から低い場所へと一気に流れ込みました。その結果、川から離れた地域でも道路の冠水や住宅の浸水が多発しました。

主要な幹線道路では、冠水で交通網がまひしたほか、一部では崖崩れやライフラインの損壊も発生。夜間に雨がさらに強まる中、暗闇の中での懸命な救助活動が続けられるなど、市民生活に深刻な影響を及ぼす事態となりました。

市内の被害状況（9月11日午後5時時点）

人的被害7人	死亡1人	土砂災害	2件
	中等症1人	道路・橋梁（きょうりょう）被害	215件
	軽症者5人	その他被害（非住家被害含む）	287件
救助者	34人	市施設被害	49件
住家被害288件	床上浸水167件	ライフライン被害	29件
	床下浸水101件	河川など水害	30件
	その他20件		

☎ 防災安全課
☎ 7167-1115
FAX 7163-2188



道路と農地の境目が分からなくなった



住宅浸水により集められた災害ごみ



水圧によってコンクリート製のふたが外れた



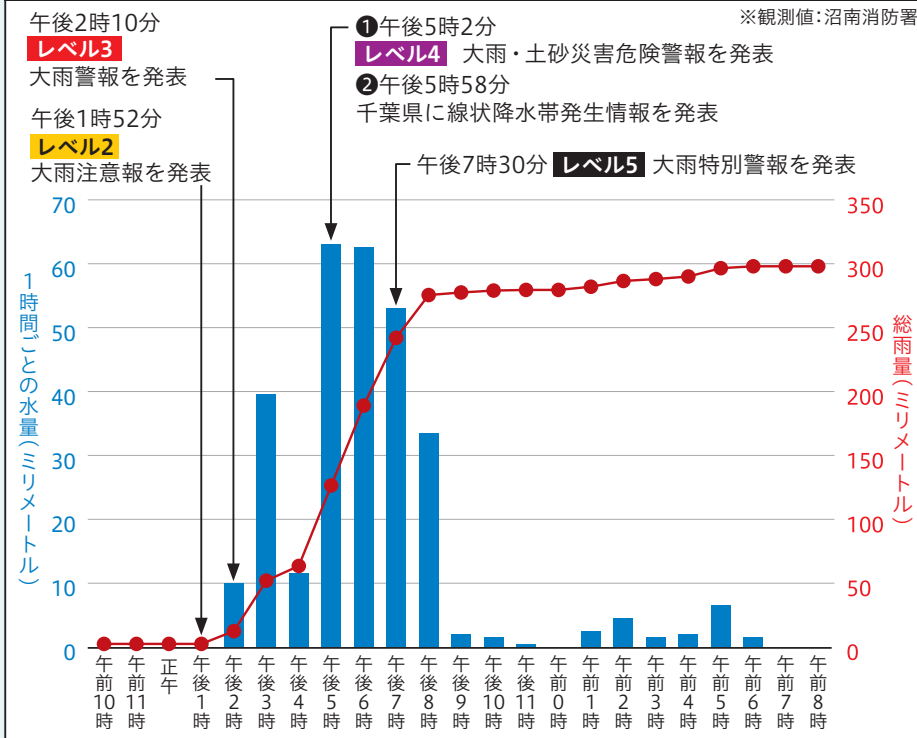
雨水と流されたごみが水路に向かい、圧力に耐えられずフェンスが倒壊



土砂崩れて道路が封鎖された

令和8年8月千葉豪雨 雨量と警報発表等の概況

※観測値：沼南消防署



データが語る記録的豪雨

グラフが示すとおり、今回の豪雨では、非常に激しい雨が短時間に集中して降っていたことが分かります。市内で最も多い総雨量を記録した沼南地域では、周辺地域の8月1カ月分の平均雨量の3.6倍に相当する記録的な雨量となりました。

この豪雨は市内に大きな傷跡を残し、一時30台を超える車両の被災や8カ所の

通行止めが発生しました。

現在、被災された皆さんの生活再建に向け、市では罹(り)災証明書の交付や災害ごみの収集、一戸建て住宅の床下部の消毒、住宅修理の支援や税の減免といったさまざまな支援を案内しています。

被災者への支援情報をご案内しています

浸水被害などにより被災されたかたへの支援制度や、各種手続き、相談窓口などを、市のホームページでご案内しています。



市ホームページ

大雨のときに危険が高まる場所

大雨が降り始めたとき、私たちが普段何げなく使っている場所は、一瞬にして危険な場所へと姿を変えます。いつもの道や外出先で自らの身を守るためには、どこにどんな危険が潜んでいるのか、日頃からリスクを把握しておくことが必要不可欠です。

危険を知って、 通れる場所の確認を

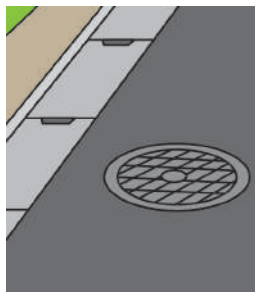
「見慣れた場所だから」という油断は禁物です。水深が浅く見えたとしても、足元が見えなくなると側溝で足を踏み外したり、車が動かなくなったりする危険があります。ご自身やご家族の通勤・通学路、よく行く外出先を思い浮かべながらチェックしてみましょう。

アンダーパスや すり鉢状の道路で車が水没



周囲より低い場所には水が一気に流れ込み、短時間で深く冠水するため、足元を取られたり車内に閉じ込められたりします

側溝やマンホール、水路へ 転落し、流される



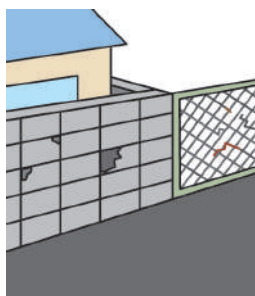
冠水すると、水圧などによってふたが外れることも。道路との境目が見えず転落したり流されたりします

地下への階段や出入口に 水が流れ込み、逃げ出せない



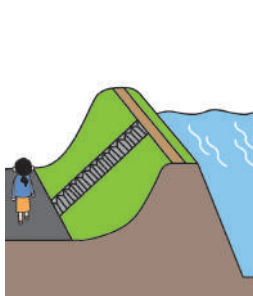
地上が冠水するほど大雨が降ると滝のように大量の水が流れ込みます。水圧でドアが開かなくなるなど、逃げ出せなくなります

斜面やブロック塀が 崩れて下敷きに



大雨によって地盤が緩むことで、土の斜面や古いブロック塀などが崩落・倒壊し、巻き込まれます

川の土手より低い場所は、 短時間で浸水する恐れも



川の水位が上がると街の雨水を川へ流せなくなり、街中に水があふれ、短時間で広範囲が冠水します



災害情報を 受け取る準備を

どんな場所においても大雨警報などの速報や避難情報を取得できるよう、柏市公式LINEの友だち追加や、防災速報アプリのダウンロードをしておきましょう。



柏市公式LINE



Yahoo!
防災速報アプリ

指定避難所へ行くことだけが 避難ではありません



浸水しない高さに居室があり、食料・市ホームページ水を備えていれば、自宅の上の階への避難も有効です。ただし、土砂災害の危険がある区域では立ち退き避難が原則で、安全なエリアにある親戚・知人宅等も避難先の候補になります。

市の防災ツールを活用しよう

街の危険な場所に気付く「自分の目」に加え、市の防災ツールを使うと、避難のタイミングを判断するのに役立ちます。

事前のリスクや、雨の日のリアルタイムな状況を把握するための、日頃から活用できる2つのツールを紹介します。

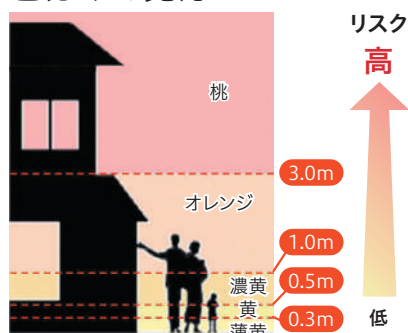
浸水リスクと避難行動を ハザードマップで事前に確認

自宅や職場、よく行くエリアの浸水リスクが確認できる「ハザードマップ」。マップには洪水や内水浸水、土砂災害などいくつかの種類があります。それぞれの特徴を確認し、リスクを事前に把握しておきましょう。



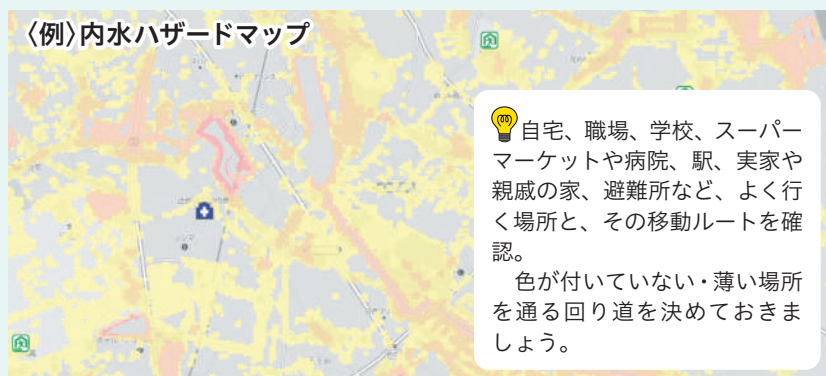
web版柏市
ハザードマップ

色分けの見方



想定最大雨量である、1時間に降水量153mmの雨が降った際の水の深さ

〈例〉内水ハザードマップ



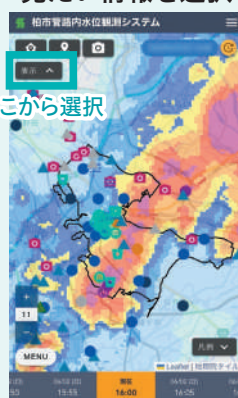
RisKmaで雨雲と 浸水リスクを確認

大雨が降っている最中、リアルタイムで危険を察知するのに役立つのが柏市管路内水位観測システム「RisKma」です。スマートフォンやパソコンから、雨雲の動きや河川・下水道の水位、浸水想定エリアを地図上で確認できます。

図 下水道工務課

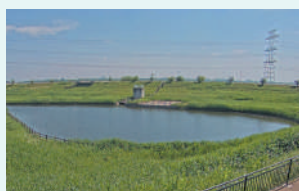
☎7167-1429・FAX 7167-1165

見たい情報を選択



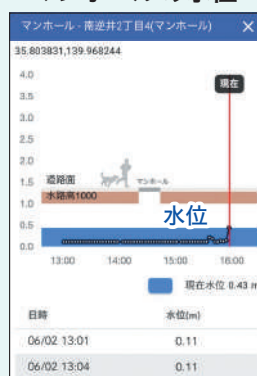
RisKma

河川の状況



▲土砂災害や河川の氾濫状況等を
ライブカメラで確認

マンホールの水位



▲中に設置した
センサーで
水位を把握

テーマは
避難所
開設・運営

総合防災訓練の参加者を募集

大規模な自然災害時に、市と避難者が協力して避難所を立ち上げ、地域で支え合うためには災害時の動き方を知っておくことが不可欠です。

今年は、避難所の開設・運営訓練を中心に、避難所がどのように立ち上げられ、運営されるのかを体験します。災害への備えを見直し、地域全体の防災力を高めませんか。

☎11月29日(日)午前9時30分～午後1時30分
所 光ケ丘中学校

☎先着100人

☎10月1日(休)午前0時から、市のホームページで

☎図 防災安全課 ☎7167-1115・FAX 7163-2188



市ホームページ